

2020年に向けた活動方針と選手選考について

2020. 1. 11

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会
強化委員会
ジュニア委員会

1. ヴィジョン

アジアのオリエンテーリングにおける歴史、実力ともにNo.1の国を目指し、オリエンテーリングの世界的な競技スポーツとしての地位確立に貢献するため、アジアを代表した存在感を競技力で示す。

また、2020年はスプリントWOCの開催となるため、2020年はスプリントを中心に強化を進めるとともに、2021年のフォレストWOCの準備を行う。AsJYOC2019でのジュニア・ユース世代の成長を鑑み、ネクストアスリートを生み出すためU-20、U-18世代の更なる競技力向上に努める。強化委員会の支援コーチに加え、個人コーチ・アドバイザー、所属クラブや大学のコーチ・オフィシャル等の協力、さらには地域クラブの協力を得ながら強化活動を進める。

JOAは日本オリンピック委員会（JOC）の承認団体となっている。日本代表選手としてのインテグリティ（誠実、真摯、高潔）やアンチドーピングなどの教育を充実させるとともに、アントラージュ（競技活動を支える環境）活動にも注力予定である。

2. 目標

2.1 WOCにおける2024年までの中期目標

○スプリント種目：

男女あわせて決勝進出2名以上。

スプリントリレーで20位以内。

○フォレスト個人種目：

男女あわせて40位以内、2名以上。

○フォレストリレー種目：

男子：25位。

女子：23位。

2.2 2020年WOCにおける目標

大会の位置づけ：日本代表選手が目標とすべき最高峰の大会。

○スプリント個人種目：

スプリント競技：男女ともファイナリスト1名以上

ノックアウトスプリント：男女ともノックアウトセクションへの進出1名以上

○スプリントリレー種目：

男子：アジア、北米地区の中で最上位。

女子：アジア地区の中で最上位、かつ他地域の2カ国より上位。

2.3 JWOC

大会の位置づけ：経験と育成、強化のバランスを取る必要がある大会。そのために、世界レベルの大会の経験を重視、スプリント重視、フィジカル重視、多くの視点を持って選手選考すべき大会。

選手の今後の成長を見据え、中長期的な視野で目標を定める。具体的な目標は強化委員会がジュニアコーチと協議して各年度の遠征チームに対して定める。

2.4 AsOC（AsJYOC併設）

大会の位置づけ：結果を重視する大会であり、アジアにおける日本のプレゼンスを示す大会。また同時に、国際大会の経験や厳しさを知る大会。

○M/W21E、M/W20E、M/W18E、M/W16E各年代のトップ選手を派遣する。すべての種目で優勝およびメダル獲得を目標とする。

3. 強化活動

3.1 アドバンスト選手登録について

強化委員会は、JOAの競技者登録をした選手の中から、競技力向上の意志を持ち、Aクラスのコースを自力で完走できる技術、体力のある選手を対象に強化活動を行っていく。希望する選手はアドバンスト選手（ADV選手）登録を行うことで強化合宿に参加できる。アドバンスト選手は、年齢により2種類（シニア、ジュニア）の登録種類がある（表1参照）。

日本代表選考に選考されるためには、JOA競技者登録をしていること、さらにADV選手登録を行っていることを条件とする。言い換えると、日本代表選手を目指すための第1ステップとしてJOAの競技者登録、第2ステップとしてADV選手登録となる。

現在の、日本のオリエンテERING代表となるための概念図を以下に示す。

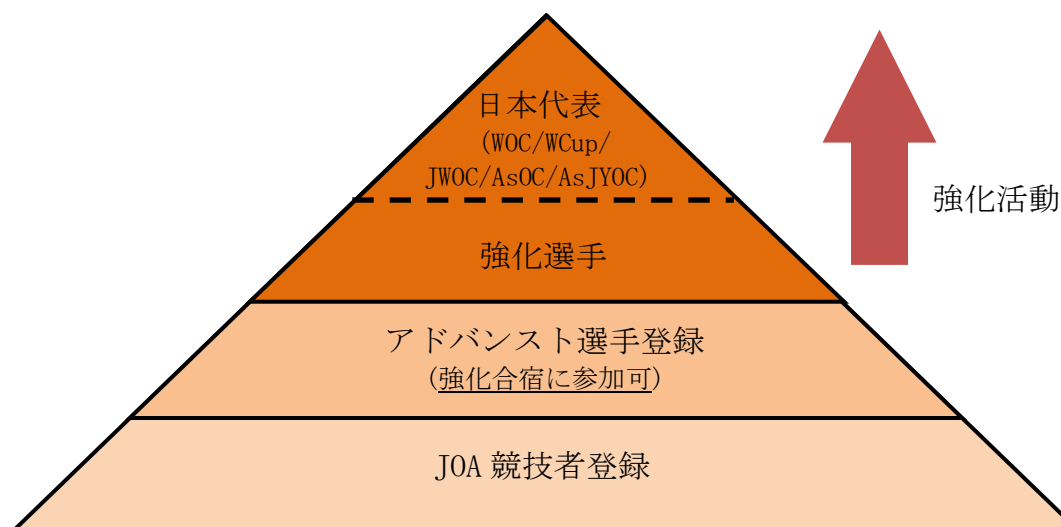


図1 日本代表、強化選手とアドバンスト選手登録の概念図

表1 アドバンスト選手登録の種類と概要。

	年齢対象	合宿・練習会参加		選考エントリー		登録費
		スプリント	フォレスト	WOC/WCup/AsOC	JWOC	
1) シニア	21歳以上	○	○	○	×	5,000
2) ジュニア・ユース	20歳以下	○	○	○	○	2,000

※ ジュニア・ユース：2000年1月1日以降生まれ

3.2 強化選手について

ADV登録された選手の中から、実績やポテンシャルをもとにして、WOCを目指す選手としてA強化選手、B強化選手、スプリント強化選手を指定する。なお、2020年WOCはスプリント競技のみであるため、スプリント強化選手からA強化選手を指定することとなる。なおA強化選手は日本のトップレベルの競技力をもつ選手とし、該当者がいない場合は指定しない場合もある。また、ADV登録された選手の中から、JWOC/AsOC（U16、U18、U20）を目指す選手としてU-20およびU-18強化選手を指定する。

① A強化選手（男女各1名以下）

コーチング体制を整え、目標の共有とトレーニングの質・量を向上させる。

② B強化選手（男女各数名程度）

2020年AsOC、WCup、WUOCおよび2021年のWOCを見据え、強化合宿、WOCトレキャンなどで競技力

の向上を図る。

③スプリント強化選手

2020年のAsOC、WCupおよびWOCを見据え、強化合宿、WOCトレキャンなどで競技力の向上を図る。

④ U-20およびU-18強化選手（男女各数名程度）

総合的にナビゲーションおよびフィジカルを強化することで優れた選手を育成することを目的とする。

※強化選手には、強化合宿における地図代等のトレーニング経費の一部を免除する。

3.3 強化選手の指定

詳細は、「強化選手指定要領」として発表済み。

ただし、A強化選手（後述）については別途選考を行う。候補者のうちA強化選手に指定されることを希望するものは、2020年1月18日（土）までに、トレーニング計画書、遠征計画書、希望出場種目を添えてA強化選手の申し込みをする（「強化選手指定要領」参照）。選考に際しては、「トレーニング計画内容」「遠征計画内容」「過去の海外における競技結果」を考慮の上、1月下旬に、強化委員会が指名する。

4. 日本代表の選考

4.1 WOC代表選考

○ 選考人数：2020年WOC個人出場枠数（男女ともスプリントおよびノックアウトスプリントとも各国3名）を選考することを基本とする。アジア選手権者（スプリント競技）が個人枠として加わる予定であり詳細を確認中である。また、怪我、病気等の発生を考慮して、男女とも最大4名まで下記の選考方法によって選考する場合がある。

○ 選考対象：2020年JOA競技者登録者かつADV選手とする。

○ 選考方法：

a) アジア選手権者（スプリント競技）としての個人枠（確認中）

b) 全日本スプリント選手権による選考
男女各1名を内定者として選考済み

c) アジア選手権大会2020（韓国）スプリント競技による選考
アジア選手権大会2020（韓国）スプリント競技における、a)およびb)を除く日本人トップを代表選手として選考する。

d) 実績等による推薦

海外における実績（2020年5月ワールドカップラウンド1終了時点でのスプリントWRポイント、2019年～2020年AsOC、WCup等のスプリント競技成績）、国内主要大会（全日本スプリント、インカレスプリントなど）、A強化選手指定、スプリント強化選手指定、それ以外にもトレーニングキャンプへの遠征など、2020年WOCにむけた積極的な取り組みも考慮の上、推薦選手を決定し、a)～d)合わせて男女とも最大4名を選考する。

※b)およびc)において、辞退の場合、次点者の繰り上げはしない。

4.2 JWOC代表選考

○ 選考人数：男女各6名以内を選考する。

○ 選考対象は、2020年JOA競技者登録者かつ2020年アドバンスト選手登録を行った者とする。

○ 選考方法：

選考会JME/JWE（2020年4月12日/静岡県富士市）を選考対象大会とする。

※U-20またはU-18強化選手かつ参考レースで特に優れた成績を収めている者は、選考会を待たずに代表に内定することがある。

※男女各1名の補欠選手を選考する場合がある。

○ 参考レース：

7/7～12 JWOC（デンマーク）

8/28～31 AsJYOC（山梨県北杜市）

9/22 全日本ジュニア個人戦（愛知県岡崎市）

10/14 全日本ロング（滋賀県高島市）

11/9 インカレスプリント（岐阜県中津川市）

11/10	インカレロング（岐阜県中津川市）
11/16	全日本スプリント（福島県二本松市）
2/2	ジュニアチャンピオン（東京都）
2/8	日本学連強化合宿レース（栃木県）
2/23	阪神奈大会（大阪府）
3/14	インカレミドル（栃木県）

4.3 AsOC代表選考

- 選考についてはJOAホームページを確認すること。

4.4 WUOC

- WUOCについては日本学生オリエンテーリング連盟が選考するので、日本学生オリエンテーリング連盟のWEBを確認すること。

5. 今後の予定

5.1 スプリント・トレーニング

国内スプリント大会の主催者の協力を得て、競技会終了後に、トレーニング機会を設定し、フィジカル、技術および経験（特にノックアウトスプリント種目）向上を目指す。

トレーニングについては、JOAホームページ等で告知する。

5.2 強化合宿

ADV選手も強化合宿に参加可であるが、選考会以降の強化合宿では、代表選手及び強化選手向けの練習メニューが中心となる。

① 参加資格

強化合宿への参加は、誰でも参加可能とするが、トレーニングの人員に制限がある場合や、目的が限定される場合などは、強化選手、代表選手およびADV選手を優先することがある。また参加費は一般参加の場合、割り増しとなる。

② 開催予定（フォレストが中心であるが、早朝にスプリントを組み込むこともある）

1月～2月は、走り込み、走力アップを重視し、3000mの測定イベント開催を各地でサポートする予定。

3月20日（金）～22日（日）	第1回合宿（AsOC強化合宿）	栃木県
4月18日（土）～19日（日）	第2回合宿（AsOC強化合宿）	静岡県
5月23日（土）～24日（日）	第3回強化合宿	関東
5月24日（日）	日本代表壮行会	東京都
6月27日（土）～28日（日）	第4回強化合宿	静岡県
7月23日（木）～25日（土）	第5回強化合宿（基礎）	長野県
9月21日（月）	強化トレーニングデイ	長野県

※ 国内主要大会の日程により、変更する可能性がある。

※ JWOC/AsOC向けの強化合宿を追加で開催する可能性がある。

5.3 WOC2020に向けた推奨イベント

WOC2020の代表選手には、5/11-15トレキャン（デンマーク）、5/20-24WCup（スイス）、5/30-6/3トレキャン（デンマーク）への参加を推奨する。

5.4 WOC2021に向けた推奨イベント

WOC2021を目指す選手は、9/3-6Eurometing※トレキャン併設予定（チェコ）への参加を推奨する。

5.5 ADV選手登録と強化指定

強化指定 2020年1月6日希望提出締切り、1月下旬指定

ADV選手登録 随時

6. 遠征経費と助成金の活用

遠征経費に関して、これまでWOC/JWOCの遠征を対象としてスポーツ振興基金助成金を申請してきたが、2020年についても助成金を申請予定である。ただし、遠征経費（参加費等）の一部しか補助することができず、また助成金も確約されたものではない。そこで、渡航費（航空券代）は代表選手、帯同オフィシャルとも自己負担、その他の経費（帯同オフィシャルのエントリー代・宿泊費も含む）は代表選手が負担することを基本とし、助成金を得ることができた場合には負担軽減を図る。また代表選手、帯同オフィシャルの負担が大きくなり過ぎる場合には、強化委員会が経費の一部を負担する。

7. 問い合わせの送付先

送付先：kyouka■orienteer.jp ■=@

題目：「2020活動方針」

本文に、所属、氏名、連絡先（メール発信元への返信で良い場合は不要）を明記の上送付下さい。

主要な国内・国際大会・イベント

2020/3/13-15	インカレミドル・リレー	栃木県	M, R
2020/4/12	JWOC、WUOC 選考会	静岡県	M, L
2020/5/1-5	アジア選手権	韓国	M, S, R
2020/5/11-15	WOC トレーニングキャンプ	デンマーク	S
2020/5/20-24	ワールドカップラウンド1	スイス	L, KS, S
2020/5/30-6/3	WOC トレーニングキャンプ	デンマーク	S
2020/6/28-7/5	JWOC	トルコ	S, M, L, R
2020/7/7-7/11	WOC	デンマーク	S, KS, SR
2020/7/14-7/18	FISU WUOC	ロシア	S, SR, M, L, R
2020/8/7-8/11	ワールドカップラウンド2	エストニア	L, M, R
2019/10/1-4	ワールドカップラウンド3	イタリア	L, M, R
2019/10/	全日本大会ミドル	長野県	M
2019/10/	全日本大会ロング	長野県	L

注記：

WOC：	フット0世界選手権大会
JWOC：	フット0ジュニア世界選手権大会
AsOC：	フット0アジア選手権大会
AsJYOC：	フット0アジアジュニア・ユース選手権大会
EOC：	フット0ヨーロッパ選手権大会
WCup：	フット0ワールドカップ
WUOC：	フット0世界大学選手権大会
WRE：	ワールドランキングイベント（WOC、WCup、AsOCを含む）
WRポイント：	ワールドランキングイベントにて選手に付加されるポイント

L：	ロングディスタンス
M：	ミドルディスタンス
R：	フォレストリレー
S：	スプリント
KS：	ノックアウトスプリント
SR：	スプリントリレー

以上